

環境への取組みと社会との共生

神戸製鋼グループは、地球環境の保全が全ての生命体に共通する最も重要な課題であり、より健全な地球環境を次世代に引き継ぐことが私たちの使命であると認識し、環境経営基本方針を策定して、事業活動のあらゆる面で環境に配慮する環境経営の推進に努めています。

■環境経営基本方針

『グループ環境経営の実践によるさらなる企業価値向上』

—— グループの環境力向上 ——

神戸製鋼グループは、環境先進企業グループとして

1. 環境に配慮した生産活動
2. 製品・技術・サービスでの環境への貢献
3. 社会との共生・協同

を実践することにより、社会的責任を果たすと共に、環境力を高め企業価値を向上させる。

■「第3回 KOBELCO 森の童話大賞」表彰式の開催

「第3回 KOBELCO 森の童話大賞」では、応募総数574件の中から、各賞11名が選ばれました。1月24日に灘浜サイエンススクエアにて表彰式を行ないました。金賞2作品は絵本となり、環境啓発ツールとして活用いただくため、兵庫県をはじめとする後援自治体の学校や公立図書館などに寄贈いたしました。



受賞者



絵本(金賞作品)

■長府製造所が省エネ大賞 「省エネルギーセンター会長賞」受賞

当社アルミ・銅事業部門の長府製造所は、一般財団法人省エネルギーセンターが主催する「平成27年度 省エネ大賞」の省エネ事例部門において、「省エネルギーセンター会長賞」を受賞しました。本賞は、省エネルギーに関する取組みについて優れた成果を表彰するものです。

長府製造所では、生産設備のエネルギー使用量の見える化に取り組み、従来の「スタッフによる設備改造・更新を主としたハード面の改善」から、「実際に生産設備を操作するオペレーターを巻き込んだ操業方法・製造条件などのソフト面の改善」へと省エネ活動の内容をシフトしてきました。具体的には、省エネ提案賞の設置や標語・ポスターの掲示等を通じ、省エネ活動の活性化を図っていく中で、2014年度QCサークル活動として65件の改善を行ない、2015年1～3月のエネルギー原単位(単位量(1トンあたり)の製品を生産するのに必要なエネルギー量)を2013年度比9%削減しました。

当社では、省エネ活動の推進を経営的課題として捉え、グループ会社を含む各事業所の省エネルギーに係る人材育成と技術支援に取り組んでいます。今後も省エネルギー活動を積極的かつ継続的に行なうことを通じて、省エネルギー型社会の構築に寄与します。



表彰式の様子

社会貢献への取組み

■社会との共生

神戸製鋼グループは、未来を担う子供たちの成長をお手伝いするため、様々な活動を行なっています。

2006年度に設立した「コベルコ地域社会貢献基金」では、子供たちの健全な育成をお手伝いすべく、主に遊具や教材などを毎年寄贈しています。2012年度以降はグループ会社も加わり、2015年度の対象エリアは、神戸製鋼グループの事業所・研究所が立地する15市1町となりました。

また、当社は、当社が支援するNPO法人「SCIX(シックス)」が考案した球技「スペースボール」を近隣の小学生に体験していただく際のお手伝いをしています。「スペースボール」は、子供たちの身体能力の向上やチームプレーの習得を促すもので、当社が運営し、子供を含む地域の方に開放している科学館「灘浜サイエンススクエア」の見学とセットで体験いただいています。

神戸製鋼グループは、今後も、こうした活動を継続し、社会との共生を図っていきます。



「コベルコ地域社会貢献基金」の活動の一環として、子どもの警護ボランティア団体に備品を寄贈



スペースボールを体験する子どもたち

ラグビーを通じての活動

■ラグビーの普及活動

当社ラグビー部、神戸製鋼コベルコスティーラーズは、ラグビーを通じて地域・社会との交流やスポーツの裾野を広げる活動を行なっています。

主な活動は、兵庫県のラグビースクールでの指導や、神戸市の小学校を中心に行なっている出張タグラグビー教室です。タグラグビーとは、安全で誰にでも手軽に楽しめる、タックルやスクラムなどの接触プレーがないラグビーです。当社ラグビー部は、子供たちには、ラグビーを通じて、友達を思いやる心を学んでもらおうと、「思いやりパス」を合言葉に子供たちの指導に取り組んでいます。

このほか、地域住民やファンの方々との交流を深めるとともに、ラグビーを知らない方にラグビーの良さを伝え、ラグビーに興味を持っていただくために、地域のお祭りやトークショー等のイベントに選手やマスコットキャラクターの「コーロクン」が参加しています。

今後も当社ラグビー部は、ラグビーを通じて地域・社会と積極的に交流を図り、多くの方々にラグビーの魅力を伝えるよう努力していきます。



タグラグビー教室の様子



イベントを盛り上げる選手たち